

## 教育行政報告

最近の教育行政について報告いたします。

### ○ 最近の学校の様子について

5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、児童生徒の学習活動や学校行事等において児童生徒同士の関わりが増え、活気が戻って参りました。また、7月22日から始まった34日間の夏季休業は、厳しい暑さが続く異例の夏休みとなりましたが、大きな事故もなく無事に終了し、8月25日から2学期が始まりました。児童生徒は元気に学校生活を送っておりますが、気温の高い日が続くと見込まれており、引き続き体調面への気配りと暑さ対策を講じて参ります。

2学期は、9月に小学校の自然教室や修学旅行、中学校の学校祭などの大きな行事を予定しております。子どもたち一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう、引き続き学校と連携を密にして参ります。

また、昨年度から配置された「ICT支援員」により、教員の個人研修や校内研修が充実し、授業における効果的なICT活用も進んできております。今後も学校訪問などを通じて、よりよい活用方法を働きかけて参ります。

### ○ 児童生徒による各種大会等の結果について

全国小学生陸上競技交流大会秋田県予選会において、男子コンバインドAで象潟小学校6年生が、優勝しております。

また、県中体連総合体育大会における陸上競技では、仁賀保中学校1年生が1年男子1500mで優勝し、東北大会に出場しております。

全国少年少女カヌー大会女子小学4年生以下200m普及艇では、B&Gにかほ海洋クラブ平沢小学校3年生が優勝、平沢小学校3年生が準優勝、平沢小学校3年生が5位に入賞しております。また、男子5・6年生200m普及艇では、金浦小学校6年生が5位に入賞しております。

全日本吹奏楽コンクール秋田県中央地区大会では、仁賀保中学校、金浦中学校及び象潟中学校が金賞を獲得し、県大会に出場しております。

### ○ 青少年育成にかほ市民会議のリーダー研修会について

8月1日から1泊2日の日程で、市内3中学校の生徒会役員を対象に、リーダーとしての自覚を高めること、他校生徒との交流を通して連帯意識の高揚と資質の向上を図ること、ふるさとの魅力について学ぶことを目的に研修会が行われました。

今回は、本市中学生11名が夫婦町である松島町を初めて訪れ、松島の中学生7名と寝食を共にし、交流を深めております。

初日は、夫婦町となったご縁の一つの「瑞巖寺比翼塚」や東松島市の「東日本大震災復興記念公園」での現地学習、2日目は松島町地域コーディネーターを講師に「夫婦町の観光名所や特産品を協力してPRしよう」をテーマとしたグループワークを行いました。参加した両校の生徒が、今後の生徒会活動において、幅広い視野を持って取り組んでいくことができるような有意義な研修となりました。

### ○ 第39回奥の細道象潟全国俳句大会について

8月5日、道の駅象潟「ねむの丘」を会場に開催いたしました。

子どもの部では、市内小・中学校7校から753句の投句があり、秋田県現代俳句協会幹事の齋藤みどり氏に選評をしていただきました。

一般の部では、全国各地の205人から410句の投句があり、俳人協会副会長の西村和子氏に講演及び選評をしていただきました。

子どもの部、一般の部ともに特選、秀逸、佳作の作品を入選として授賞式を行い、特選の6句については、今後1年間、蚶満寺境内の看板に掲載し、披露いたします。

本市は、おくのほそ道紀行の目的地の1つであることから、秋田県内唯一の芭蕉ゆかりの地であります。この伝統ある俳句大会は、来年40回目の節目を迎えることから、記念大会を計画しております。

### ○ 市民文化祭について

今年度は、創作・体験コーナーやバザー部門、お茶会を再開するなど、コロナ禍前の通常開催とほぼ同じ形で行う準備を進めております。また、昨年度から新たに取り組んでいる参加型交流イベントについても、仁賀保高校などと連携した「eスポーツ体験イベント」を開催する予定としております。

「発表部門」は10月28日から2日間の日程で、仁賀保勤労青少年ホームを会場に有観客による開催とし、「展示部門」は、11月3日から3日間の日程で、市内3公民館3体育館での開催となります。

### ○ 行ヒ森遺跡現地説明会について

4月から発掘調査を実施している「行ヒ森遺跡」の現地説明会を、7月22日に開催いたしました。

当日は強い日差しが照りつける夏日となりましたが、市内外から33名の方が参加し、発掘調査現場の様子や、出土した遺物、遺構などを見学しました。

同遺跡からは、本市の先覚、斎藤宇一郎氏が稲作の技術革新として取り組んだ、近代の乾田馬耕の遺構なども検出されており、参加者は、職員の説明に熱心に耳を傾け、質問される方も多くおりました。

現地での調査は終了しており、今後は報告書の作成に向けて、検出した遺物や遺構についての分析や、整理作業を進めて参ります。

### ○ 第11回鳥海山伝承芸能祭の開催について

明日、9月2日の午後1時から、仁賀保勤労青少年ホームにおいて4年ぶりに開催いたします。

今回は、本市から、国指定重要無形民俗文化財の「小滝（こだき）のチョウクライロ舞」をはじめ5芸能が出演するほか、由利本荘市から国記録選択で県指定無形民俗文化財の「屋敷番楽」が特別出演いたします。

開演前には、市内の出演団体が仁賀保駅から会場まで、お囃子を奏でながら練り歩く「小路わたり」を行う予定となっております。

### ○ WRO Japan 2023 公認秋田県中央地区予選会について

8月4日、国際的なロボットコンテストの公認予選会が、仁賀保中学校を会場に開催されました。

本大会は、子どもたちの創造性と課題解決能力を育成することを目的に、2010年から実施しております。今回、小学生部門には本市から9チーム、中学生部門には本市と由利本荘市から13チーム、高校生部門は2チームが参加し、ロボットの組み立てとプログラミングによる高度な課題のクリアを目指し、技術を競い合いました。

なお、中学生部門で優勝した大内中学校のチームと、高校生部門で優勝した本市在住の高校生チームは、8月27日に東京都で開催された全国大会に出場しております。

### ○「南極・昭和基地ツアー」について

7月29日、南極昭和基地の第64次南極観測隊の越冬隊員と白瀬南極探検隊記念館を含む連携機関9か所をオンラインで結び、観測隊の活動を紹介する「南極・昭和基地ツアー」が開催され、当記念館では35名の参加がありました。

ツアーでは現地隊員から真冬の基地周辺の様子や、観測隊の活動内容の紹介があったほか、それぞれの会場から基地に向けた質問コーナーが設けられるなど、日本と南極大陸との遠隔地にあっても交流が深められる機会となりました。